

発行元：(一社)相模原市高齢者福祉施設協議会 事務局 TEL：042-707-1136 FAX：042-707-1217  
E-mail：[Sagamihara-kourekio@peace.ocn.ne.jp](mailto:Sagamihara-kourekio@peace.ocn.ne.jp) HP：<http://sagamihara-kourekio.org/>

## ●相模原市高齡協の活動指針

本会は、高齢者福祉施設が使命とする高齢者の支援等を基本に、地域福祉の推進とサービスの質的向上を図るため、会員施設及び事業所相互の連携と共通課題について研究協議を行い、相模原市内に所在する施設及び事業所の健全な発展と高齢者福祉の推進に寄与することを目的としています。

## ●「さがみはら介護の日大会」開催

11月8日、第11回「さがみはら介護の日大会」が開催されました。

- ・講演「初めてでもわかる成年後見制度」  
落語家 桂ひな太郎 師匠  
(公社)リーガルサポート神奈川県 幹事  
司法書士 田中和亜 先生
- ・研究発表 ・写真展コンテスト表彰式
- ・次代を担う介護職員等勤続表彰式
- ・介護・福祉相談 ・福祉機器／介護食品展示

…など多くのイベントが催されました。

講演では「成年後見制度」を落語や対談の形でわかりやすく学ぶことができました。高齢化が進み、ますますそのニーズが高まっている昨今、観客の皆さんも熱心に聴き入っている様子でした。

研究発表では以下3グループによる意欲的な取り組みが紹介されました。

- 「アロマセラピー いいですよ！」 特別養護老人ホーム シルバータウン相模原
- 「住みなれた地域で生活を続けるために」 介護老人保健施設 なごみの里
- 「優しさを伝えるケアメソッド【ユマニチュード】の現状と効果」  
アルファ医療福祉専門学校

写真展のコンテストでは、以下の三作品が優秀賞、最優秀賞に選ばれました。



「笑顔の素敵な彼女たち」  
相模原敬寿園



「どうにもとまらない」  
青根苑2号館



「パン食い競争！  
～あとでおいしくいただきました～」  
なごみの里



## ●「老人福祉施設に関する要望書」を提出

11月22日、相模原市高齢協は、介護施設・事業所の経営危機を回避するために、相模原市に対して「老人福祉施設に関する要望書」を提出しました。

国が公開している「財務諸表電子公表システム」による市内の実態調査結果を見ても、ますます経営実態の悪化が進行している状況が明らかになっています。また、介護・看護職員の人材不足の常態化が顕著になっていることも経営環境を脅かす大きな懸念材料になっています。

この機に何らかの手だてを講じなければ、サービスの質の低下をもたらすどころか、市内にある事業所の大半が、その存続さえ危ぶまれる深刻な事態に陥りつつあります。そうなれば、社会への影響も甚大なものになるのは必至です。「要望書」は、こうした状況を踏まえた上で作られています。以下がその概要です。



### 1. 社会福祉法人及び運営する施設・事業所の存続について

- ① 経営実態調査の早急な実施と、その結果を踏まえた事業継続の具体的な方針を策定していただきたい。
- ② 経営危機に陥った事業への緊急な対策、支援を行っていただきたい。
- ③ 経営実態調査を踏まえ、施設・事業所の新規開設を停止していただきたい。
- ④ 隣接市との介護報酬（地域区分）差の解消及び収支改善のための助成、施設等改修・整備等の補助等の支援をしていただきたい。
- ⑤ 施設等の大型改修、再整備、大型設備購入等、事業所の運営が継続できるよう費用の補助をしていただきたい。

### 2. 介護人材の確保・育成の推進について

- ① 介護人材の確保・育成を一元的に企画実施するため、（仮）介護人材センターの設置と効果的運用を早期に実施していただきたい。
- ② 介護職員の子どもの市内保育園の優先利用、就労支援助成、育成校奨学金補助給付など職員確保の施策を整備いただきたい。
- ③ 主任介護支援専門員資格取得研修を市内で実施していただきたい。

### 3. 大規模災害時の支援について

甚大な風水害など災害時における要援護高齢者等の受入れ及び福祉避難所運営に関する実施マニュアルの策定を担うプロジェクトチームを設立していただきたい。

## ●合同施設長会 開催

11月14日、相模原市民会館にて合同施設長会が開催されました。

地域医療課から「救急連絡シート」活用についての周知、「要望書」提出、「経営者部会」設置、「かながわ高齢者福祉研究大会」委員決定報告、「災害情報伝達訓練」報告、「介護の日大会」報告、「合同職員親睦会」報告、「経営実態調査」報告、「介護助手事業」進捗報告、その他の担当者からの連絡等がなされました。

本会終了後は、事業単位ごとの部会が持たれました。



## ● 《特養部会》「第3回 相模原市 特別養護老人ホーム経営実態調査 フォローアップ研修」開催

11月21日、平成29年度の「第3回 特別養護老人ホーム経営実態調査」結果を踏まえて、特養の経営者、施設長を対象にしたフォローアップ研修が催されました。

調査結果を居形態に即した分析を解説した上で、事業所の経営を継続させていくための実際的な方途を検討するという内容でした。

市内の特養の利用率が全体で9割まで低下し、人件費率が相対的に上昇したため、従来型では7割、ユニット型では1/4強が経営赤字に陥っていることが明らかになりました。こうした危機的状況の中で、財務や意思決定、目標達成の方法など、組織の経営基盤を固めるための徹底した取り組みが必要であることを改めて認識させられる研修となりました。

当日は、後藤祐一衆議院議員の秘書、長友克洋 神奈川県議会議員にも傍聴いただきました。



## ● 管理者研修「BCP(事業継続計画)、福祉避難所開設について」開催

10月24日、「BCP(事業継続計画)、福祉避難所開設について」と題して、PwCコンサルティング合同会社、東海林崇先生を講師に迎えて、事業所管理者向けの講座を開催しました。

激甚化する気象災害や切迫する巨大地震への対応が喫緊の課題となっている昨今の情勢を踏まえ、緊急事態に遭遇した際に損害を最小限にとどめつつ、いかに事業を継続させ、早期の復旧を図るか—その取り組み方を学びました。

後半は、グループでの演習も交え、福祉避難所の役割、開設から運営にいたるまで要点を捉えた実践的な研修となりました。



## ● 公開講座「法人による職員への理念教育」開催

10月26日、「法人による職員への理念教育」と題した公開講座が、社会福祉法人 伸こう会 理事長、足立聖子先生を講師に迎えて開催されました。

「伸こう会」では、多様な個性、価値観を大切にして幅広いニーズに応えるという基本姿勢から、年齢、国籍、性別、障害の有無などにかかわらず、多様なスタッフを集め、法人運営を行っているとのこと。

講義の中では、わかりやすく、具体的な行動に結び付き、なおかつ柔軟性のある基本理念を構築し、●徹底してその共有化を図ること、●具体的、実践的な行動指針や経営計画を立案すること—その重要性が強調されていました。

1,000名を超えるスタッフ抱えつつ、それぞれの多様な個性、価値観を活かしながら、地域に根差した法人経営の取り組みを通して得られた知見を基に、これからの社会福祉法人のあり方を明瞭に示していただきました。



## ● 現任研修「介護福祉士資格取得対策講座」開催

11月2日、現任の施設職員向けの「介護福祉士国家試験受験対策講座」を開催しました。

第31回（平成30年度）の国家試験（筆記試験は、平成31年1月27日。実技試験は、同3月3日）の合格を目指した受験対策のための集中講座です。

介護の現場で働きながら、合格を目指していかに効率的に勉強するか。受講された皆さん、それを指導する講師の先生。共に真剣な眼差しで取り組まれていました。



## ● 各種イベント・活動

### ◆ 10月

10日	理事会	12日	合同職員親睦会
16日	デイ部会	24日	事務局会議

### ◆ 11月

8日	介護の日大会	14日	合同施設長会
16日	高齢政策課意見交換会	19日	特養部会&居宅部会 合同生活相談員会
21日	特養部会 施設長会「経営実態調査フォローアップ研修」		
21日	デイ部会 生活相談員会	28日	事務局会議

## ● 賛助会員

愛知金物建材 株式会社	株式会社 コンティ
株式会社 ウェブトラスト	守屋綜合法律事務所
株式会社 タマパーク	千寿産業 株式会社
Office CPSR（臨床心理士・社会保険労務士事務所）	
株式会社 三ノ輪建設	株式会社 ケイ・アース
望月史郎公認会計士事務所	株式会社 みらい
シープラス 株式会社	株式会社 ディフェンス
株式会社 中島建設	アライブかながわ
住宅型有料老人ホーム 勢水	住宅型有料老人ホーム 田名新宿住宅
住宅型有料老人ホーム あんず	日興テクノス 株式会社
株式会社 永田屋	株式会社 きらぼし銀行 相模原法人営業部
日本ゼネラルフード 株式会社	株式会社 ナリコマエンタープライズ
株式会社 IDO	相模原商事 株式会社
株式会社 太陽住建	ケアミックス 株式会社
株式会社 リンク・アップ	福永隆太(株式会社タウンニュース社)
株式会社 シマソービ	
敬称略/加入順	

## ● 編集後記

広報紙第13号をお届けします。今後もより一層、内容を充実させてゆく所存です。施設や職員の紹介、イベント案内など、どんなものでも結構です。ご意見、情報など、どんどんお寄せください。ご協力をお願いいたします。

連絡先は、相模原市高齢協 事務局（広報誌担当）まで

〒252-0236 相模原市中央区富士見6-1-20（あじさい会館内）

TEL：042-707-1136 FAX：042-707-1217 E-mail：[Sagamihara-koureikyo@peace.ocn.ne.jp](mailto:Sagamihara-koureikyo@peace.ocn.ne.jp)